

取り組み目標（脱炭素・循環型社会）

脱炭素社会

地球温暖化を1.5℃に抑える水準に向けた取り組みとともに、街の脱炭素に貢献する

循環型社会

ゼロ・ウェイスト社会に向け、顧客接点の多い事業特性を生かして資源循環・循環経済の輪に加わり、輪を広げる

1

チャレンジ目標を掲げる

- 自社（連結）の事業活動 **Scope1,2**
2030年 CO₂排出量 46.2%削減（2019年度比）
再エネ比率 50%
2050年 CO₂排出量 実質0
再エネ比率 100%（RE100）

- 2030年 廃棄物量 10%削減（収益原単位2019年度比）
- 2030年 水使用量 10%削減（収益原単位2019年度比）

自社
（連結）

2

あらゆるステークホルダーとの**パートナーシップ**で取り組む

3

環境に良い**行動変容を後押しするサービス**を提供する

脱炭素・循環型社会

- 事業活動のサプライチェーン **Scope3**
2030年 CO₂排出量 30%削減（2019年度比）*
- 街の脱炭素 **Scope3を超えて**
お客さまの脱炭素を促進するサービス提供や
エネルギーインフラマネジメント、
自治体連携等を通じて街の脱炭素を促進する

- 環境負荷を低減するサービスメニュー提供
2030年までに100件以上
- SDGs行動する人 2030年までに3割向上*
（2021年度50.6% ⇒ 65%）

* 東急(株)による東急線沿線17市区におけるSDGs認知度調査（インターネット調査）にて、SDGs17のゴールのいずれか1つ以上で企業選択意向/ 行動意向のある人の割合。2021年度は50.6%。3割向上することで、行動する人が約82万人増加に相当。

街への
取り組み